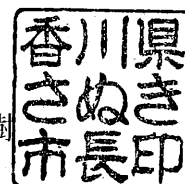


20さ建設第196号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

さぬき市長 大山 茂樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県さぬき市

重点化を進める上で優先度の高い政策

1. 道路財源問題は、地方の必要不可欠な道路整備と地方財政にとって極めて重要な課題である。

来年度から道路特定財源に関して一般財源化にと閣議決定されているが、地方道路整備臨時交付金については、市町村道路の整備にとって誠に有効な制度であることや、仕掛かり中の道路もあることから同制度の拡充を強く求める。

2. 高度成長期における道路拡張整備や延伸が先行していることから、歩道や右折車線等の交通安全施策を併せ持った生活幹線道路の整備
3. 災害時の早急な緊急物資輸送にも必要な高速道路の4車線化の早期整備と、一定距離は無料化に、さらには料金引き下げ等により利用しやすい高速道路を期待する。
4. 都市部への人口流出防止や市内からの雇用促進のためにも、企業誘致を図り、そのアクセス道路の整備

効率化を進める上で重視すべきこと

1. 道路整備にあたっては、限られた予算で最大限の効果を発揮できることが重要なことから、過大な道路整備を生む原因になっているとの指摘のある道路構造令等については、都市部と地方部とそれぞれの地域の状況にあった弾力的な運用を。

道路の整備・管理全般に関する意見

1. 道路橋梁長寿命化修繕計画策定における維持管理等の補助する仕組みの構築が必要であるが、橋長に拘らず、橋梁全部を長寿命化修繕計画策定の対象にするとともに修繕補助対象に。

② - 1 地域の現状と抱える課題

香川県さぬき市

○現状

●国道 11 号沿線の J R 志度駅前付近では交通渋滞が慢性化しており、交通事故也多発しています。

さぬき市の庁舎も駅前からの侵入経路であることから混雑しています。

右折車線等を設け、車両のスムーズな流れを確保していただきたい。

また、天野峠西付近には歩道等がなく、近くの大学への通学等の歩行者が多いことから歩道の設置を望む。

さらには、天野峠東付近で死亡事故の発生しており、急カーブが多く、見通しが悪いとのこともあり、死亡事故もあったことから早期整備を望みます。

津田町では、羽立峠の追い越し車線が一部未完成であり、「道の駅津田」への右折車線の整備や西町の見通しの悪いカーブの緩和を望みます。

●高松東・鳴門間は、暫定二車線となっており、交通量の増加とともに、交通渋滞や交通事故が多く発生している。

利用者の安全で安心な走行空間を確保し、四国の産業・経済の振興や東南海・南海地震の緊急輸送にも寄与するものと考えており、4 車線化を強く要望します。

○課題

国道 11 号の右折車線の設置、急カーブの緩和等

高松自動車道（高松東 I C ～ 鳴門 I C 間）の早期 4 車線化

国道 11 号東バイパスの延伸

●現在の国道 11 号東バイパスは高松自動車道高架下を通り、さぬき三木インターまで整備済みであるが県道高松長尾大内線との交差点から東においては急激に通行車両が減少し、利用度が低いことが非常に残念である。

その理由として、さぬき三木インター以東のアクセスとして県道三木牟礼線で接続しているが、国道 11 号や高松長尾大内線（4 車線）までの距離が長く、カーブが多いことなどからさぬき三木インター以東のアクセスが非常に不便なことが一つの要因であり、さぬき市街の交通渋滞にも起因していると思われる。

② - 2 地域の目指すべき将来像

香川県さぬき市

さぬき市のまちづくりの基本理念を「自立する都市」、将来像を「人いきいき 親自然。真健康・新創造」としています。

市民が安定して働ける労働環境の充実、地場産業をはじめとした産業の振興、新しい魅力ある産業の創出に力を注ぎ定住の基礎となる産業基盤を確立し、市民の市政への参画により、市民と行政が協働して取り組む自主と自立の市民自治の確立を目指しています。

また、まちの基盤づくりとともに、次代を担う子供たちが心豊かにたくましく育ち、市民がいきいきと、健康で安心して暮らせる地域社会と、健全な環境を守りながら快適に暮らせる地域社会づくりを目指しています。

さぬき市の将来像の実現に向け、市全体で取り組んでいく中で都市づくりに重要な道路は非常に重要であります。

まず、四国内の主要都市を結び、広域的な交流や連携を担う軸として四国横断道、その中で本市を貫く高松自動車道は大変重要な役割を果たしています。

その高松自動車道は、現在、高松東・鳴門間が暫定2車線となっており、この区間の早期4車線化を図ることにより産業・経済の振興や地震時の緊急輸送にも大いに寄与し、本市の発展にもつながるものと期待しています。

本市は、都市間の広域的交流・連携を担う軸として、海岸部を国道11号、平野部を主要地方道県道高松長尾大内線、さらには山間部の国道377号が東西方向に、また、主要地方道県道志度山川線が南北を貫いていることなどから、市内の主要な国道や県道の幹線道路については、ほぼ整備されています。

しかしながら、世界遺産の候補に挙げられている四国霊場八十八か所の志度寺、長尾寺、結願の寺大窪寺あり、古くから門前町として栄えたところでもあり、その遍路道を散策しながら自然との触れ合いに癒しを求め、歩き遍路が全国から訪れていることから、歩道等の交通安全施設等の整備が重要と考えています。

次に学校教育施設の再編と有効活用の推進を図り、再編整備やその跡地となる施設の利活用等における道路整備も重要と考えています。

また、後継者不足や、人口減少等を防ぎため、企業の市内への誘致を図り、市民からの雇用を促進し、定住を図るとともに誘致先へのアクセスや生活道路の整備を実施していきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

香川県さぬき市

○重点事項 地域活力の向上	○代表事例 ●市道馬次大井線道路新設事業 本路線は、さぬき市の海岸部にある大串公園を国道１１号からのアクセス道として、延長２８００ｍを平成１２年度から新設しており、２１年度完成を目指している。 ●都市計画道路・市道志度駅南中央線新設事業 本路線は、さぬき市の中心市街地のＪＲ志度駅から志度地区南の市街地を横断する県道高松志度線に連結し、駅前広場（ロータリー）を併設する道路であります。	○期待する効果や評価等 公園内のイベント会場での催し等には相当数の来客があり、バス等で遠距離を運送している状況であるが、この路線の開通により、大幅な時間短縮と自家用車等の乗り入れ等に便利になり、観光客も増加すると期待している。 ＪＲ志度駅は、本市の交通の拠点であり、市役所本庁もあることから重要な都市施設として位置づけています。しかし、国道１１号と平行にある現在の北口駅前広場は大変狭く、路線バスやタクシー乗降にも支障をきたしており、大変通勤・通学に不便となっています。 そのようなことから平成１０年に当駅の橋上化に合わせ、自由通路を併設し、南からの乗降が可能となったこともあり、南口駅前広場（ロータリー）を含めたアクセス道路として完成し通あります。 完成後は、地域住民の安全を確保するとともに、市街地の賑わいと活気にあふれたさぬき市を期待したい。	○その他
--------------------------	---	---	-------------